

# 各事例の詳細について

平成22年6月3日  
農林水産省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	結果 (3日判定)
265	児湯郡新富町	肉用牛繁殖	22頭 (繁殖牛14頭 育成牛1頭 子牛7頭)	256例目の農場から南西約1km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月2日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の舌にびらん等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、飼養牛の舌等に炎症を確認</li> <li>・臨床症状のみで口蹄疫と判断することが困難であったため、同日、検体を動物衛生研究所に送付 (25日、ワクチン接種)</li> </ul>	PCR陽性 1頭
266	児湯郡高鍋町	肉用牛繁殖	当該農場62頭 (繁殖牛27頭 育成牛6頭 子牛29頭)  関連農場5頭 (繁殖牛5頭)	172例目の農場から南約1.5km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月2日夕方、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の唇の傷・子牛の死亡等を確認したと届出</li> <li>・同日夜、立ち入り、飼養牛の口内のびらん・唇の潰瘍等を確認 (25日、ワクチン接種)</li> <li>・当該農場の飼養管理者が、別の農場でも飼養管理を行っていたことから、別の農場の飼養牛全頭も疑似患畜とした。</li> </ul>	口蹄疫特有の臨床症状あり
267	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	12頭 (繁殖牛7頭 育成牛1頭 子牛4頭)	180例目の農場から北西約350m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月3日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛の舌に黒い斑点等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、飼養牛の舌にびらん・流涎等を確認 (25日、ワクチン接種)</li> </ul>	口蹄疫特有の臨床症状あり
268	児湯郡川南町	養豚	616頭 (肥育豚616頭)	107例目の農場から南西約300m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月3日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、飼養豚の鼻・蹄にびらん・鼻鏡に水疱等を確認 (24日、ワクチン接種)</li> </ul>	口蹄疫特有の臨床症状あり
269	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	80頭 (繁殖牛44頭 育成牛3頭 子牛33頭)	262例目の農場から北約250m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月3日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、飼養牛の鼻や口内にびらん等を確認 (26日、ワクチン接種)</li> </ul>	口蹄疫特有の臨床症状あり